

# わが街 Watching



▲コンサートの様子(撮影:たがわ写真クラブ 古木徳太郎さん)

## 心に響く「歓喜の歌」を届けたい 第九を歌うバイinたがわ

12月23日、田川文化センターで「第九を歌うバイinたがわ」が催され、訪れた約500人がベートーヴェンの交響曲第九番「歓喜の歌」などに聞き入りました。

12回目を迎えたこのコンサートの歌い手は、田川市郡の住民で構成する「たがわで第九を歌うバイ合唱団」や緑保育園(川崎町)の園児たちのほか、初参加の「翔けこども合唱団」を合わせて約170人。第1部では、太平洋戦争中に生き残った象を取り上げたミュージカル「ぞうれっしゃがやってきた」を披露して、戦争の悲惨さと平和への願いを訴えました。また、第2部では、心を揺さぶる大合唱で「歓喜の歌」を歌い上げ、会場からは大きな拍手が送られました。

## 日独スポーツ交流に新たな動き

### ドイツ・ブランデンブルク州から視察団来訪

12月1日、ドイツ・ブランデンブルク州スポーツ連盟の関係者4人が、本市とのスポーツ交流を目的に市役所を訪れ、二場公人市長と対談したほか、市の体育施設を視察しました。

ドイツの首都ベルリンが位置するブランデンブルク州は、スポーツの交流と振興に力を入れています。本市は東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致活動の一環として昨年ドイツを訪問した際に、同州のコトブス市を視察。スポーツ関係団体との交流が今回の来訪につながりました。

市総合体育館やトレーニングセンターを視察したロベルト・ブッシュさんは「パラリンピックを契機に相互の関係を深め、スポーツ交流につなげたい」と期待を語りました。



▲市国際交流員(左手前)が通訳。両者の思いをつなぎました

**地域おこし協力隊 自転車GO**

Facebookでも活動を発信中！  
スマホ、携帯電話から今すぐアクセス！

大平QR 砂子間QR

## 新しい地域おこし協力隊が着任！

寒い寒い寒い……昨年の今頃は、雪が降る市内を自転車で巡っていた私ですが、最近では自転車に乗ることが多くなりました。たまに自転車に乗ると、指先が針で刺さっているように痛くて寒い！

さて、田川市地域おこし協力隊員は、市内の魅力あるニュースを発信する私(砂子間正貴)と、伊田商店街の活性化を担う大平太士隊員の2人でしたが、昨年末にもう1人仲間が加わりました。新しい隊員は、

添田町出身の中嶋弘子さん。後藤寺商店街のにぎわい創出を担当するとのこと、実際に後藤寺に住み、活動を始めています。

さっそく後藤寺商店街振興組合に行き中嶋隊員に話を聞いたところ、同商店街では現在「ごとうじひなめぐり」に向けて準備をしている真っ最中で「店舗ごとに個性を出した演出をして、ひなめぐりを盛り上げたい！」と意気込んでいました。もちろん、私も「ごとうじひなめぐり」と中嶋隊員の活躍を現地からレポートします。これからは私たち3人が力を合わせて頑張りますので、みなさんよろしくお祈りします！

## 私の通学路だった商店街に新風を

12月15日、後藤寺商店街の活性化を担う地域おこし協力隊として、中嶋弘子さんが着任し、市役所で辞令を受けました。

中嶋さんは、添田町出身。西田川高等学校を卒業後、東京都や神奈川県に約11年間住んでいました。その間、医療事務・秘書検定・ホームヘルパー・タイ式マッサージなどさまざまな資格を取得。東京では、館内放送やアナウンス、プレゼンテーションなど人前での説明・PRなどの仕事に携わり、個人的にマッサージや美容、薬膳を勉強していました。都会で培った知識や経験を生かして、生まれ育ったふるさと田川の活性化の力になりたいと思い、本市の募集に応募したそうです。

現在は後藤寺に住まいを移して、空き店

舗の調査や活用、イベントの企画などを担い、商店街の活性化に向けた取り組みを始めています。

高校時代、後藤寺商店街を通過して登下校をしていた中嶋さんは「東京に住んでいる間も、田川に戻って母と後藤寺商店街に買い物に行くことがありました。人も減って、昔利用していた店も閉まってしまい、寂しさを感じました。後藤寺商店街に来たお客さんに「また来たい」と言ってもらえるような、次につながる商店街にしたい。そのためにも、現場で働く先輩方の声・思いをしっかり受け止めて、まちのことや活性化に必要なことを学び、福岡、全国、海外に発信できるようなまちづくりに力を注ぎたい」と抱負を語りました。



地域おこし協力隊 中嶋弘子さん



▲大学生からの質問に笑顔で答える執行さん

## ドイツで働いた日本人炭坑労働者が語る 執行龍美さんが福岡県立大学で講義

11月30日、福岡県立大学で、公共社会学科の社会調査実習特別講義が行われ、長年ドイツの炭坑で働いた執行龍美さんが同学科の2年生13人に当時の経験を話しました。

この講義は、社会調査実習課題「地域づくり、地域資源に対する評価についての市民意識調査」の一環で、筑豊とドイツの石炭産業の違いなどを学ぶために開かれたもの。執行さんは1950年代～60年代にドイツに派遣された436人の日本人炭坑労働者のひとり、約30年以上同国の炭坑で働きました。ドイツの炭坑の経営や労働組合の仕組み、労働の価値観や考え方の特徴などを伝えた執行さんは「ぜひ一度は海外に出て学んでほしい」と訴えました。

## シリーズ 田川市立病院だより

### 紹介状を持参するとどんな利点があるの？

田川市立病院は「かかりつけ医(地域の医院・診療所)」からの紹介によって受診していただく「紹介外来制」をとっています。  
当院を受診するときは、他の医療機関からの「紹介状(診療情報提供書)」が必要です。  
初診時に「紹介状」を持参すると、次のような利点があります。

※紹介状がない場合は、医療費とは別に「初診時にかかる保険外併用療養費」として2,160円(税込)を負担していただいています。

- ＜利点＞
- 現在までの病状、薬の内容などの治療経過がわかり、不要な検査などを省いて治療を早く始めることができる
  - 当院で行った診療内容を「診療情報提供書」に記載してかかりつけ医に報告するため、かかりつけ医は、当院で行った診療を理解したうえで適切に治療を行うことができる
  - 初診時、かかりつけ医から当院の医療連携室を通して診療予約をとることができる  
※予約日時に来院して診療を受けることができるため、待ち時間が短くなります。

●くわしい情報はHPで検索

田川市立病院

クリック